

令和5年10月～12月期地域産業経営動向調査の結果をとりまとめました

堺市と堺商工会議所では、堺市内の景気動向を把握するため、令和5年10月～12月期の地域産業経営動向調査を以下のとおり実施し、調査結果をとりまとめました。

1 調査対象 堺市内に所在する事業所 800社（回答企業 405社 回答率 50.6%）

2 調査期間 令和5年12月18日（月）～令和6年1月9日（火）

3 調査結果概要

今期（10月～12月期）の前年同期比を見ると、採算DI、雇用人員DIはやや改善、売上高DIは横ばい、業況判断DI、資金繰りDIは2期連続でやや悪化となった。

来期（1月～3月期）の予測については、雇用人員DIは2期連続で改善、業況判断DIは2期連続でやや改善、採算DIは横ばい、売上高DI、資金繰りDIは2期連続でやや悪化している。

数値の推移としては、全体的に前回調査と大きく変わらない印象であるが、前年同期比は業種によって前回より改善・悪化の差が激しい。

加えて、DIの項目別に指標を見てもやや悪化・悪化の項目も多く、各種原材料・エネルギー価格の高騰が続いていることから、引き続き市内企業の動向については注視する必要がある。

○業況判断	前年同期比の指標は2期連続でやや悪化（ $\Delta 11.6 \Rightarrow \Delta 14.1$ ） 来期見通しの指標は2期連続でやや改善（ $\Delta 14.1 \Rightarrow \Delta 12.3$ ）
○売上高	前年同期比の指標は横ばい（ $\Delta 7.7 \Rightarrow \Delta 8.1$ ） 来期見通しの指標は2期連続でやや悪化（ $\Delta 8.1 \Rightarrow \Delta 10.4$ ）
○採算	前年同期比の指標はやや改善（ $\Delta 10.4 \Rightarrow \Delta 7.9$ ） 来期見通しの指標は横ばい（ $\Delta 7.9 \Rightarrow \Delta 7.9$ ）
○資金繰り	前年同期比の指標は2期連続でやや悪化（ $3.7 \Rightarrow 2.0$ ） 来期見通しの指標は2期連続でやや悪化（ $2.0 \Rightarrow 0.7$ ）
○雇用人員	前年同期比の指標はやや改善（ $\Delta 3.2 \Rightarrow \Delta 0.5$ ） 来期見通しの指標は2期連続で改善（ $\Delta 0.5 \Rightarrow 4.7$ ）

問い合わせ先

担当課：産業振興局 産業戦略部 産業企画課
電話：072-228-7414
ファックス：072-228-8816

令和5年10月～12月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 5 年 12 月 18 日（月）～令和 6 年 1 月 9 日（火）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率	
	建設業	200 社	100 社	50.0%
	製造業	200 社	103 社	51.5%
	卸売業	100 社	51 社	51.0%
	小売業	100 社	50 社	50.0%
	サービス業	200 社	101 社	50.5%
	全産業	800 社	405 社	50.6%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(10月～12月期)の前年同期比を見ると、採算DI、雇用人員DIはやや改善、売上高DIは横ばい、業況判断DI、資金繰りDIは2期連続でやや悪化となった。

来期(1月～3月期)の予測については、雇用人員DIは2期連続で改善、業況判断DIは2期連続でやや改善、採算DIは横ばい、売上高DI、資金繰りDIは2期連続でやや悪化している。

数値の推移としては、全体的に前回調査と大きく変わらない印象であるが、前年同期比は業種によって前回より改善・悪化の差が激しい。

加えて、DIの項目別に指標を見てもやや悪化・悪化の項目も多く、各種原材料・エネルギー価格の高騰が続いていることから、引き続き市内企業の動向については注視していく必要がある。

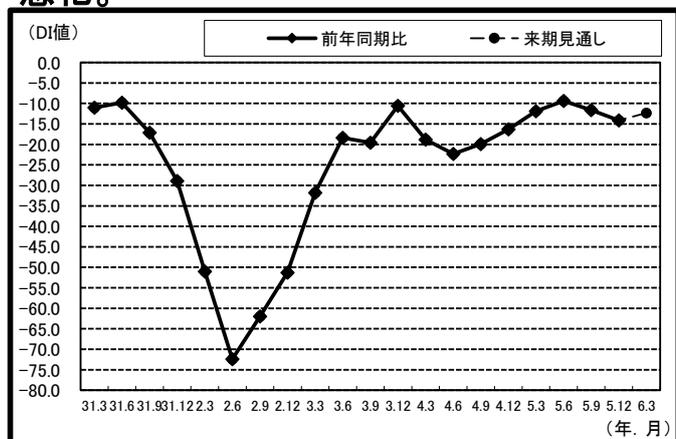
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。(△11.6⇒△14.1)

・来期見通しの指標は2期連続でやや改善と予測。(△14.1⇒△12.3)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業は改善、製造業は横ばい、建設業、サービス業はやや悪化、小売業は悪化。

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。



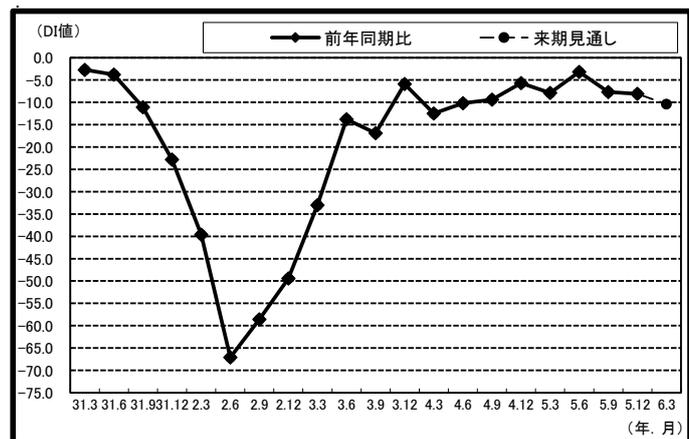
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は横ばい。(△7.7⇒△8.1)

・来期見通しの指標は2期連続でやや悪化と予測。(△8.1⇒△10.4)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、卸売業は改善、サービス業は横ばい、建設業は悪化、小売業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は横ばい。



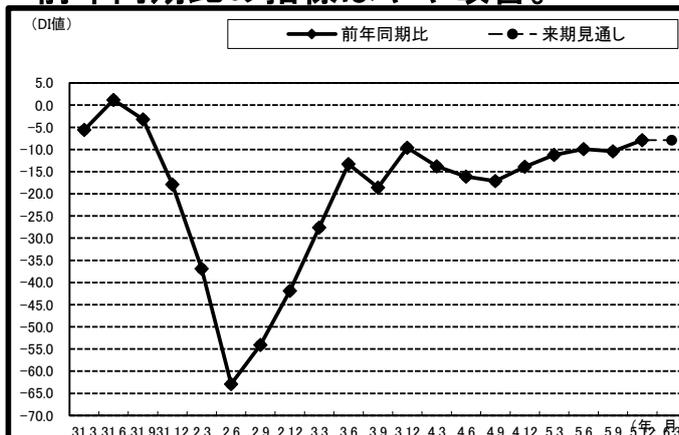
3. 採算の動向

・前年同期比の指標はやや改善。
($\Delta 10.4 \Rightarrow \Delta 7.9$)

・来期見通しの指標は横ばいと予測。
($\Delta 7.9 \Rightarrow \Delta 7.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業、サービス業は改善、建設業、製造業、小売業は悪化。

・前年同期比の指標はやや改善。



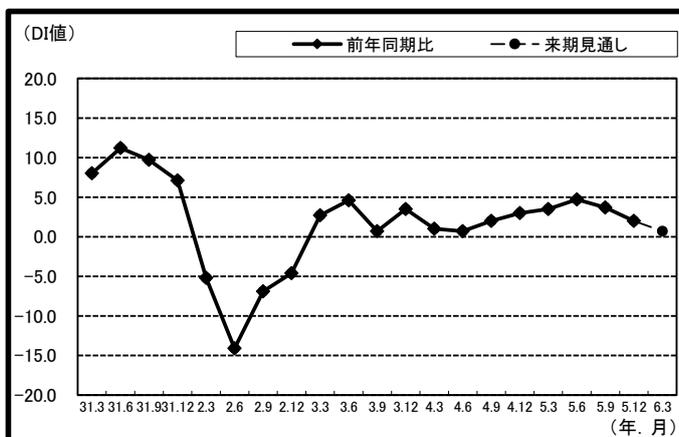
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。(3.7 \Rightarrow 2.0)

・来期見通しの指標は2期連続でやや悪化と予測。(2.0 \Rightarrow 0.7)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業は改善、製造業はやや改善、建設業は悪化、小売業、サービス業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。



5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標はやや改善。
($\Delta 3.2 \Rightarrow \Delta 0.5$)

・来期見通しの指標は2期連続で改善と予測。(0.5 \Rightarrow 4.7)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業、小売業は改善、サービス業はやや改善、製造業は悪化。

・前年同期比の指標はやや改善。

